

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 かねて

- ① いつの間にか
- ② 前もって
- ③ 少しずつ
- ④ ゆっくりと

2 ゆめく禁止

- ① 決してしてはいけない
- ② 自分でしてはいけない
- ③ これ以上してはいけない
- ④ できればしてはいけない

3 わざと

- ① 特別に
- ② 奇妙に
- ③ 内密に
- ④ 故意に

4 けしからず

- ① おもしろい
- ② 悪くはない
- ③ 神妙だ
- ④ 異様だ

5 ちより

- ① 歩いて
- ② 意地で
- ③ 気ままに
- ④ 黙々と

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

6 御よろこびなど言ひおこする人も、かへりては弄ずる心地して、ゆめうれしからず。

（蜻蛉日記）

- （訳）（夫の大納言昇進の）お祝いなど言つて寄こす人も、逆にからかっている感じがして、（私は）「」うれしく「」。

- ① なぜかくない
- ② 少しくない
- ③ もうくない
- ④ まったくくない

7 うたて、なにしに、さ申しつらむ。

- （訳）「」、「」、どうして、（私は）あんな風に申し上げてしまったのだろうか。

- ① 意外なことに
- ② いやなことに
- ③ 残念なことに
- ④ 正直なことに

8 あなかま、人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ。

- （訳）「」、「」、人に聞かせてはいけない。とてもかわいらしい猫だ。飼おう。

- ① なるほど、そうか
- ② ちよつと待って
- ③ しつ、静かに
- ④ いいか、わかつたな

9 人の臥したるを、奥の方よりやをらのぞいたるも、いとをかし。

- （訳）人が寝ているのを、奥の方から「」のぞいているのも、とてもおもしろい。

- ① そつと
- ② ぼんやり
- ③ ちよつと
- ④ じつと

10 それ（龍の首）が玉を取らむとて、そこらの人々の害せられむとしけり。

- （訳）龍の首の宝石を取ろうとして、「」の人々が殺されようとした。

- ① いくらか
- ② その一带
- ③ すべて
- ④ たくさん

11 二十八日、よもすがら雨やまず。今朝も。

- （訳）二十八日、「」雨が止まない。今朝も（降っている）。

- ① 一晩中
- ② 夜になると
- ③ 一日中
- ④ 夜明けから

12 わざとかねて外の（桜ノ花ビラ）をも散らして、庭に敷かれたりけるにや。

- （訳）「」前もって外の桜の花びらをも散らして、庭に敷かれたのであるか。

- ① やはり
- ② わざわざ
- ③ ひたすら
- ④ どうして

13 冬枯れのけしきこそ、秋にはをさをさ劣るまじけれ。

- （訳）冬枯れの様子は、秋には「」劣ら「」。

- ① まあまあくないだろう
- ② それでもくないだろう
- ③ ほとんどくないだろう
- ④ まったくくないだろう

14 かたみに思ひあふことかぎりなし。

- （訳）（男と女は）「」愛し合うことこの上もない。

- ① 深く
- ② ときに
- ③ いつも
- ④ たがいに

15 わざとの僧膳はせさせ給はで、湯漬けばかり給ふ。

- （訳）（道長殿は僧たちに）「」食膳は用意なさらずに、湯漬けのご飯だけを振る舞いなさる。

- ① 平凡な
- ② 本格的な
- ③ 派手な
- ④ 大仰な

15 「」

14 「」

13 「」

12 「」

11 「」

10 「」

9 「」

8 「」

7 「」

6 「」

5 「」

4 「」

3 「」

2 「」

1 「」

